

安全データシート

1. 化学品及び会社情報

1.1 化学品の名称：

製品名称：サビたまんまで塗れるカラ～ エアゾール 各色

1.2 推奨用途及び使用上の制限

推奨用途：防錆剤

1.3 供給者情報詳細

供給者：株式会社 染めQテクノロジー

住所：茨城県猿島郡五霞町元栗橋5971番地

電話番号：0280-80-0005

FAX：0280-80-0006

2. 危険有害性の要約

製品のGHS分類、ラベル要素

2.1 GHS分類

物理化学的危険性

エアゾール：区分 1

健康に対する有害性

眼に対する重篤な損傷性又は眼刺激性：区分 2

発がん性：区分 2

生殖毒性：区分 1B

特定標的臓器毒性(単回ばく露)：区分 2

特定標的臓器毒性(単回ばく露)：区分 3(気道刺激性)

特定標的臓器毒性(単回ばく露)：区分 3(麻酔作用)

特定標的臓器毒性(反復ばく露)：区分 1

特定標的臓器毒性(反復ばく露)：区分 2

環境有害性

水生環境有害性(急性)：区分 3

水生環境有害性(長期間)：区分 3

(注)記載なきGHS分類区分：該当せず/分類対象外/区分外/分類できない

2.2 GHSラベル要素



注意喚起語：危険

危険有害性情報

極めて可燃性又は引火性の高いエアゾール

高压容器：熱すると破裂のおそれ

強い眼刺激

発がんのおそれの疑い

生殖能又は胎児への悪影響のおそれ

臓器の障害のおそれ

呼吸器への刺激のおそれ

眠気又はめまいのおそれ

長期にわたる、又は反復ばく露による臓器の障害

長期にわたる、又は反復ばく露による臓器の障害のおそれ

水生生物に有害

長期継続的影響により水生生物に有害

注意書き

安全対策

- 使用前に取扱い説明書を入手すること。
- 全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。
- 環境への放出を避けること。
- 熱/火花/裸火/高温などの着火源から遠ざけること。一禁煙。
- 裸火または他の着火源に噴霧しないこと。
- 使用後を含め、穴を開けたり燃やしたりしないこと。
- 粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーを吸入しないこと。
- 屋外又は換気の良い場所でのみ使用すること。
- 取扱い後は汚染箇所をよく洗うこと。
- 保護眼鏡/保護面を着用すること。
- 指定された個人用保護具を使用すること。
- この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。

応急措置

- 気分が悪いときは、医師の診断/手当てを受けること。
- 吸入した場合: 空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。
- 眼に入った場合: 水で数分間注意深く洗うこと。コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
- 眼の刺激が続く場合: 医師の診断/手当てを受けること。

貯蔵

- 換気の良い場所で保管すること。容器を密閉しておくこと。涼しいところに置くこと。
- 施錠して保管すること。
- 日光から遮断し、50℃以上の温度にばく露しないこと。

廃棄

- 内容物/容器を地方/国の規則に従って廃棄すること。

エアゾール製品に関する高圧ガス保安法の警告注意表示

使用中噴射剤が噴出する構造のもの(火災長試験による火災が認められるもの又は噴射剤として可燃性ガスを使用しているもの)

火気と高温に注意

高圧ガスを使用した可燃性の製品であり、危険なため、下記の注意を守ること。

- 炎や火気の近くで使用しないこと。
- 火気を使用している室内で大量に使用しないこと。
- 高温にすると破裂の危険があるため、直射日光の当たる所や火気等の近くなど温度が40℃以上となる所に置かないこと。
- 火の中に入れてないこと。
- 使い切って捨てること。

物理的及び化学的危険性

- 高圧の引火性ガスが入っている。加熱、衝撃等により破裂する危険性がある。
- 燃えやすいガスが入っている。ガスが滞留すると爆発の恐れがある。

3. 組成及び成分情報

混合物/単一化学物質の選択：

3.2 混合物

成分名	含有量(%)	CAS No.	化管法政令番号
アセトン	40 - 50	67-64-1	-
液化石油ガス	20 - 30	-	-
キシレン(異性体混合物)	1 - 10	1330-20-7	1-080
酢酸エチル	1 - 10	141-78-6	-
エチルベンゼン	1 - 10	100-41-4	1-053
アルミニウム粉末	0 - 10	7429-90-5	-

注記:これらの値は、製品規格値ではありません。

危険有害成分

安衛法「表示すべき有害物」該当成分

アセトン, キシレン(異性体混合物), 酢酸エチル, エチルベンゼン, アルミニウム粉末

安衛法「通知すべき有害物」該当成分

アセトン, キシレン(異性体混合物), 酢酸エチル, エチルベンゼン, アルミニウム粉末

化管法「指定化学物質」該当成分

キシレン(異性体混合物), エチルベンゼン

4. 応急措置

4.1 応急措置の記述

吸入した場合

空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。

眼に入った場合

水で数分間注意深く洗うこと。コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。

眼の刺激が続く場合: 医師の診断/手当てを受けること。

飲み込んだ場合

口をすすぐこと。無理に吐かせないこと。

5. 火災時の措置

5.1 消火剤

適切な消火剤

火災の場合は泡、粉末、炭酸ガスを使用すること。

5.3 消火を行う者への勧告

特有の消火方法

関係者以外は安全な場所に退去させる。

火災の場合: 区域より退避させ、爆発の危険性に応じ、離れた距離から消火すること。

6. 漏出時の措置

6.1 人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置

区域より退避させる。

関係者以外は近づけない。

回収が終わるまで十分な換気を行う。

適切な保護具を着用する。

6.2 環境に対する注意事項

漏れ出した物質の下水、排水溝、低地への流出を防止する。

下水、排水中に流してはならない。

6.3 封じ込め及び浄化の方法及び機材

- 不活性の物質(乾燥砂、土など)に吸収させて、容器に回収する。
- 多量に流出した場合、盛土で囲ってのち処理する。
- 乾燥石灰又はソーダ灰で覆い、蓋付き容器に回収する。

7. 取扱い及び保管上の注意

7.1 取扱い

技術的対策

(取扱者のばく露防止)

粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーを吸入しないこと。

(火災・爆発の防止)

熱/火花/裸火/高温のもののような着火源から遠ざけること。一禁煙。

裸火または他の着火源に噴霧しないこと。

エアゾール製品に関する高圧ガス保安法の警告注意表示

火の中に入れていないこと。

炎や火気の近くで使用しないこと。

火気を使用している室内で大量に使用しないこと。

安全取扱注意事項

使用前に取扱説明書を入手すること。

全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。

屋外又は換気の良い場所でのみ使用すること。

保護眼鏡/保護面を着用すること。

指定された個人用保護具を使用すること。

使用後を含め、穴を開けたり燃やしたりしないこと。

7.2 配合禁忌等、安全な保管条件

適切な保管条件

換気の良い場所で保管すること。容器を密閉しておくこと。

施錠して保管すること。

エアゾール製品に関する高圧ガス保安法の警告注意表示

高温にすると破裂の危険があるため、直射日光の当たる所や火気等の近くなど温度が40℃以上となる所に置かないこと。

避けるべき保管条件

日光から遮断し、50℃以上の温度にばく露しないこと。

8. ばく露防止及び保護措置

8.1 管理指標

管理濃度

(エチルベンゼン)

作業環境評価基準(2012) <= 20ppm

(キシレン(異性体混合物))

作業環境評価基準(2004) <= 50ppm

(酢酸エチル)

作業環境評価基準(2004) <= 200ppm

(アセトン)

作業環境評価基準(2004) <= 500ppm

許容濃度

(エチルベンゼン)

日本産衛学会(2001) 50ppm; 217mg/m³

(キシレン(異性体混合物))

日本産衛学会(2001) 50ppm; 217mg/m³

(酢酸エチル)

日本産衛学会(1995) 200ppm; 720mg/m³

(アセトン)

日本産衛学会(1972) 200ppm; 470mg/m³

(エチルベンゼン)

ACGIH(2010) TWA: 20ppm (上気道刺激; 腎臓障害; 渦巻管損傷)

(キシレン(異性体混合物))

ACGIH(1992) TWA: 100ppm

STEL: 150ppm (上気道及び眼刺激; 中枢神経系損傷)

(酢酸エチル)

ACGIH(1979) TWA: 400ppm (上気道及び眼刺激)

(アセトン)

ACGIH(2014) TWA: 250ppm;

STEL: 500ppm (上気道及び眼刺激; 中枢神経損傷)

(アルミニウム粉末)

ACGIH(2007) TWA: 1mg/m³(R) (じん肺症、下気道刺激、神経毒)

8.2 ばく露防止

設備対策

適切な換気のある場所で取扱う。

洗眼設備を設ける。

手洗い/洗顔設備を設ける。

保護具

手の保護具

保護手袋を着用する。

眼の保護具

保護眼鏡/顔面保護具を着用する。

衛生対策

取扱い後は汚染箇所をよく洗うこと。

この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。

9. 物理的及び化学的性質

9.1 基本的な物理的及び化学的性質に関する情報

物理的状態

形状：液体

物理的状態が変化する特定の温度/温度範囲

初留点/沸点：-38℃～-42℃

引火点：-104℃

蒸気密度：空気より重い

比重/密度: 0.75～0.80

溶解度

水に対する溶解度：微溶

10. 安定性及び反応性

10.2 化学的安定性

通常の保管条件/取扱い条件において安定である。

10.3 危険有害反応可能性

蒸気は引火して爆発するおそれがある。

11. 有害性情報

11.1 毒性学的影響に関する情報

急性毒性

急性毒性(経口)

[日本公表根拠データ]

(エチルベンゼン)

rat LD50=3500mg/kg (EHC 186, 1996)

(キシレン(異性体混合物))

rat LD50=3500 - 8800mg/kg (NITE有害性評価書, 2008)

急性毒性(経皮)

[日本公表根拠データ]

(キシレン(異性体混合物))

rabbit LD50=1700mg/kg (EPA Pesticide, 2005)

急性毒性(吸入)

[日本公表根拠データ]

(エチルベンゼン)

vapor: rat LC50=4000ppm/4hr (PATTY 6th, 2012)

(キシレン(異性体混合物))

vapor: rat LC50=6350-6700ppm/4hr (NITE有害性評価書, 2008)

(酢酸エチル)

vapor: rat LC50=13856ppm/4hr (ACGIH, 2001)

労働基準法: 疾病化学物質

アセトン; 酢酸エチル; キシレン(異性体混合物)

局所効果

皮膚腐食性・刺激性

[日本公表根拠データ]

(キシレン(異性体混合物))

ラビット 紅斑、浮腫、壊死 (NITE有害性評価書, 2008)

眼に対する重篤な損傷・刺激性

[日本公表根拠データ]

(エチルベンゼン)

ラビット 軽度の刺激性 (EHC 186, 1996)

(キシレン(異性体混合物))

ラビット 軽度から中等度の刺激性 (NITE有害性評価書, 2008)

(酢酸エチル)

ラビット Draize test MMAS=15.0 (ECETOC TR48, 1998)

(アセトン)

ラビット 角膜上皮の破壊4から6日で回復 (SIDS, 2002)

感作性データなし

生殖細胞変異原性データなし

発がん性

[日本公表根拠データ]

(エチルベンゼン)

cat.2; IARC Gr. 2B (IARC, 2000 et al.)

(エチルベンゼン)

IARC-Gr.2B: ヒトに対して発がん性があるかもしれない

(キシレン(異性体混合物))

IARC-Gr.3: ヒトに対する発がん性については分類できない

(アセトン)

ACGIH-A4(2014): ヒト発がん性因子として分類できない

(アルミニウム粉末)

ACGIH-A4(2007): ヒト発がん性因子として分類できない

(エチルベンゼン)

ACGIH-A3(2010): 確認された動物発がん性因子であるが、ヒトとの関連は不明

(キシレン(異性体混合物))

ACGIH-A4(1992): ヒト発がん性因子として分類できない

(エチルベンゼン)

日本産衛学会-2B: 人におそらく発がん性があると判断できる証拠が比較的十分でない物質

(液化石油ガス)

EU-発がん性カテゴリ1A; ヒトに対する発がん性が知られている物質

生殖毒性

[日本公表根拠データ]

(アセトン)

cat. 2; EHC 207, 1998

(キシレン(異性体混合物))

cat. 1B; ATSDR, 2007

(エチルベンゼン)

cat. 1B; 産衛学会許容濃度の提案理由書, 2014

催奇形性データなし

短期ばく露による即時影響、長期ばく露による遅延/慢性影響

特定標的臓器毒性

特定標的臓器毒性(単回ばく露)

[区分1]

[日本公表根拠データ]

(キシレン(異性体混合物))

中枢神経系、呼吸器、肝臓、腎臓 (NITE有害性評価書, 2008)

(アルミニウム粉末)

呼吸器 (ACGIH 7th, 2008)

[区分3(気道刺激性)]

[日本公表根拠データ]

(アセトン)

気道刺激性 (ACGIH 7th, 2001)

(酢酸エチル)

気道刺激性 (ACGIH, 2001)

(エチルベンゼン)

気道刺激性 (環境省リスク評価第13巻, 2015)

[区分3(麻酔作用)]

[日本公表根拠データ]

(アセトン)

麻酔作用 (ACGIH 7th, 2001)

(キシレン(異性体混合物))

麻酔作用 (NITE有害性評価書, 2008)

(酢酸エチル)

麻酔作用 (ACGIH, 2001)

(エチルベンゼン)

麻酔作用 (ATSDR, 2010)

特定標的臓器毒性(反復ばく露)

[区分1]

[日本公表根拠データ]

(アセトン)

中枢神経系、呼吸器、消化管 (ATSDR Addendum, 2011)

(キシレン(異性体混合物))

神経系、呼吸器 (NITE有害性評価書, 2008)

(アルミニウム粉末)

呼吸器 (ACGIH 7th, 2008)

[区分2]

[日本公表根拠データ]

(エチルベンゼン)

聴覚器 (ACGIH 7th, 2011)

吸引性呼吸器有害性データなし

12. 環境影響情報

12.1 生態毒性

水生毒性

水生生物に有害

長期継続的影響により水生生物に有害

水生毒性(急性) 成分データ

[日本公表根拠データ]

(エチルベンゼン)

甲殻類 (ベイシュリンブ) LC50=0.42mg/L/96hr (NITE 初期リスク評価書, 2007)

(キシレン(異性体混合物))

魚類 (ニジマス) LC50=3.3mg/L/96hr (NITE 初期リスク評価書, 2005)

(酢酸エチル)

甲殻類 (オオミジンコ) LC50=2,500mg/L/24hr (SIDS, 2008)

(アセトン)

魚類 (ファットヘッドミノー) LC50 >100mg/L/96hr (EHC207, 1998)

水生毒性(長期間) 成分データ

[日本公表根拠データ]

(エチルベンゼン)

甲殻類 (ネコゼミジンコ) NOEC=0.956mg/L/7days (環境省リスク評価第13巻, 2015)

水溶解度

(エチルベンゼン)

0.015 g/100 ml (20°C) (ICSC, 2007)

(酢酸エチル)

8 g/100 ml (PHYSPROP_DB, 2009)

(アセトン)

100 g/100 ml (PHYSPROP_DB, 2005)

(アルミニウム粉末)

溶けない、反応する (ICSC, 2000)

12.2 残留性・分解性

(エチルベンゼン)

急速分解性なし (良分解性; 標準法におけるBODによる分解度 : 0% (通産省公報, 1990))

(キシレン(異性体混合物))

急速分解性なし (BODによる分解度 : 39% (NITE 初期リスク評価書, 2005))

12.3 生体蓄積性

(エチルベンゼン)

log Kow=3.15 (PHYSPROP DB, 2005)

(キシレン(異性体混合物))

log Pow=3.16 (PHYSPROP DB, 2005)

(酢酸エチル)

log Pow=0.73 (ICSC, 2014)

(アセトン)

log Pow=-0.24 (ICSC, 2009)

土壌中の移動性データなし

オゾン層破壊物質データなし

13. 廃棄上の注意

13.1 廃棄物の処理方法

環境への放出を避けること。

内容物/容器を地方/国の規則に従って廃棄すること。

承認された廃棄物集積場で処理する。

エアゾール製品に関する高圧ガス保安法の警告注意表示

使い切って捨てること。

汚染容器及び包装

使用後を含め、穴を開けたり燃やしたりしないこと。

14. 輸送上の注意

国連番号、国連分類

14.1 番号：1950

14.3 国連分類(輸送における危険有害性クラス)：2.1

指針番号：126

14.5 環境有害性

MARPOL条約附属書V 海洋環境に有害な物質

生殖毒性: 区分1, 1A, 1B 該当物質

キシレン(異性体混合物), エチルベンゼン

特定標的臓器毒性, 反復ばく露: 区分1 該当物質

アセトン

14.7 バルク輸送におけるMARPOL条約附属書II 改訂有害液体物質及びIBCコード

有害液体物質(Y類)

エチルベンゼン; キシレン(異性体混合物)

有害液体物質(Z類)

アセトン; 酢酸エチル

15. 適用法令

15.1 当該製品に特有の安全、健康及び環境に関する規則/法令

毒物及び劇物取締法に該当しない。

労働安全衛生法

有機則 第2種有機溶剤等

アセトン; キシレン(異性体混合物); 酢酸エチル

有機則 25条第1項第2種有機溶剤

粉じん障害防止規則(令19号)

アルミニウム粉末

名称等を表示し、又は通知すべき危険物及び有害物

名称表示危険/有害物

アセトン(別表第9の17); アルミニウム粉末(別表第9の37); エチルベンゼン(別表第9の70); キシレン(

異性体混合物)(別表第9の136); 酢酸エチル(別表第9の177)

名称通知危険/有害物

アセトン(別表第9の17); アルミニウム粉末(別表第9の37); エチルベンゼン(別表第9の70); キシレン(

異性体混合物)(別表第9の136); 酢酸エチル(別表第9の177)

別表第1 危険物 (第1条、第6条、第15条関係)

危険物・引火性の物 (引火点 < -30℃)

化学物質管理促進(PRTR)法

第1種指定化学物質

エチルベンゼン(1%)(1-053); キシレン(異性体混合物)(5%)(1-080)

消防法

第4類 引火性液体第1石油類非水溶性液体 危険等級 II(指定数量 200L)

化審法

優先評価化学物質

エチルベンゼン(政令番号50 人健康影響/生態影響); アセトン(政令番号114 人健康影響); キシレン(

異性体混合物)(政令番号125 人健康影響)

じん肺法

アルミニウム粉末

悪臭防止法

キシレン(異性体混合物)

政令番号18: 敷地境界線許容限度 1 - 5 ppm

酢酸エチル

政令番号14: 敷地境界線許容限度 3 - 20 ppm

大気汚染防止法

有害大気汚染物質

エチルベンゼン; キシレン(異性体混合物)

船舶安全法

ガス類 引火性ガス 分類2 区分2.1

航空法

高圧ガス 引火性ガス 分類2 区分2.1

水質汚濁防止法

指定物質

酢酸エチル

法令番号 13

キシレン(異性体混合物)

法令番号 28

アルミニウム粉末

法令番号 44

適用法規情報

この物質に関する貴国又は地方の規制を遵守してください。

記載した法規情報は意図的成分に関するものです。非意図的成分、サプライヤから開示を受けていない不純物に関する情報は含まれていません。

16. その他の情報

参考文献

Globally Harmonized System of classification and labelling of chemicals, (5th ed., 2013), UN
Recommendations on the TRANSPORT OF DANGEROUS GOODS 19th edit., 2015 UN
Classification, labelling and packaging of substances and mixtures (table3-1 ECNO6182012)
2016 EMERGENCY RESPONSE GUIDEBOOK (US DOT)

2018 TLVs and BEIs. (ACGIH)

<http://monographs.iarc.fr/ENG/Classification/index.php>

JIS Z 7253 (2012年)

JIS Z 7252 (2014年)

2017 許容濃度等の勧告 (日本産業衛生学会)

Supplier's data/information

責任の限定について

本記載内容は、現時点で入手できる資料、情報データに基づいて作成しており、新しい知見によって改訂される事があります。また、注意事項は通常の取扱いを対象としたものであって、特殊な取扱いの場合には十分な安全対策を実施の上でご利用ください。